

国内経済要録

◇預金準備率の引下げ

日本銀行は1月20日、景気の着実な回復に必要な資金の供給を一層円滑化するとともに、これまでの金利低下傾向の促進に資するため、準備預金制度の準備率を次のとおり引下げることと決定した(2月1日から実施)。

1. 預金(外貨預金および非居住者自由円預金を除く)の残高についての準備率

| 指定金融機関 | 預金残高区分 | 準備率 |
|------------------|-------------------------|----------------------------|
| 銀行、長期信用銀行、外国為替銀行 | 1兆5,000億円超 | 定期性預金 1.75% (0.25%引下げ) |
| | | その他の預金 3.00% (0.75%引下げ) |
| | 3,000億円超 1兆5,000億円以下 | 定期性預金 0.75% (0.25%引下げ) |
| | | その他の預金 1.75% (0.50%引下げ) |
| | 3,000億円以下 | 定期性預金 0.25% (据置) |
| | | その他の預金 0.75% (0.25%引下げ) |
| 相互銀行、信用金庫 | 3,000億円超 | 定期性預金 0.25% (据置) |
| | | その他の預金 0.75% (0.25%引下げ) |
| | 500億円超 3,000億円以下 | 定期性預金 0.25% (据置) |
| | | その他の預金 0.75% (0.25%引下げ) |
| 農林中央金庫 | | 定期性預金 0.25% (据置) |
| | | その他の預金 0.75% (0.25%引下げ) |

2. 債券の残高についての長期信用銀行および外国為替銀行の準備率 0.25%(0.25%引下げ)

3. 金銭信託(貸付信託を含む)元本の残高についての準備率 0.25%(0.25%引下げ)

◇昭和51年度地方財政計画の閣議了承

政府は2月3日、「昭和51年度地方財政計画」を閣議了承した。その概要は次のとおり。

(1) 計画規模は25兆2,595億円、前年度計画比+17.2%と国の一般会計予算の伸び(51年度政府案+14.1%)を上回ったものの、50年度計画の伸び(+24.1%)比では、

地方の財源難を映じ伸び率は鈍化した。

(2) 歳入面の特徴

地方税は、住民税均等割、自動車関係諸税の税率の引上げにもかかわらず、法人事業税等の落込みを主因に、前年度比減額の見込みとなった。

地方交付税は、臨時特例交付金(636億円、一般会計から繰入れ交付)、ならびに交付税特別会計の資金運用部借入(1兆3,141億円)による上積み交付が行われるため、国税3税分の落込みにもかかわらず、5兆1,874億円と前年度比+17.1%の伸びとなった。

国庫支出金は、義務教育職員給与費国庫負担金の前年度比伸び率は+12.7%にとどまるものの、ウェイトの大きい公共事業補助負担金の前年度比+18.3%の伸びとなるため、全体では6兆4,626億円と前年度比+16.7%の伸びとなった。

地方債は、地方税不振のため当初から特例債を計上していることもあり2兆9,159億円、前年度比2.3倍と著伸。このため地方債依存度は11.5%と前年度(5.9%)比急上昇。

昭和51年度地方財政計画

(単位・億円、△は減少)

| | | 51年度 計 画 | 50年度 計 画 | 増 加 額 | 50年度 の対前 年度比 増 加 率 | 50年度 の対前 年度比 増 加 率 |
|-----|-------------|-------------|-------------|----------|--------------------------------|--------------------------------|
| 歳 入 | 地 方 税 | 88,830 | △20 | △0.0 | 23.5 | |
| | 地 方 譲 与 税 | 2,952 | 630 | 27.1 | 7.7 | |
| | 地 方 交 付 税 | 51,874 | 7,578 | 17.1 | 29.7 | |
| | 国 庫 支 出 金 | 64,626 | 9,259 | 16.7 | 22.0 | |
| | 地 方 債 | 29,169 | 16,421 | 128.8 | 23.9 | |
| | そ の 他 と も 計 | 252,595 | 37,007 | 17.2 | 24.1 | |
| 歳 出 | 給 与 関 係 費 | 87,169 | 12,356 | 16.5 | 48.8 | |
| | 一 般 行 政 費 | 55,330 | 6,911 | 14.3 | 25.0 | |
| | 公 債 費 | 13,997 | 4,333 | 44.8 | 23.6 | |
| | 投 資 的 経 費 | 84,753 | 13,975 | 19.7 | 11.3 | |
| | (直轄事業負担金) | (2,458) | (302) | (14.0) | (△ 2.8) | |
| | (公共事業費) | (43,219) | (7,007) | (19.3) | (9.3) | |
| | 〔うち道路整備〕 | 〔9,875〕 | 〔1,106〕 | 〔12.6〕 | 〔△ 5.6〕 | |
| | 〔漁港・港湾・空港〕 | 〔2,610〕 | 〔 414〕 | 〔18.9〕 | 〔 1.9〕 | |
| | 〔住宅対策〕 | 〔4,833〕 | 〔 672〕 | 〔16.2〕 | 〔12.1〕 | |
| | 〔生活環境施設整備〕 | 〔1,726〕 | 〔 244〕 | 〔16.4〕 | 〔23.9〕 | |
| | (失業対策費) | (1,128) | (85) | (8.1) | (19.5) | |
| | (一般事業費) | (15,800) | (1,771) | (12.6) | (20.3) | |
| | (特別事業費) | (22,148) | (4,810) | (27.7) | (10.2) | |
| | 公営企業繰出金 | 4,836 | 738 | 18.0 | 16.9 | |
| | そ の 他 と も 計 | 252,595 | 37,007 | 17.2 | 24.1 | |

(3) 歳出面の特徴

投資的経費は、国の補助事業がかなりの伸びとなるほか、51年度限りの措置として市町村道整備事業を起債対象事業に組入れ、当該事業の促進を図る趣旨から臨時市町村道整備事業費を別わく計上したこと等もあ

って全体でも 8 兆4,753億円、前年度比+19.7%の伸びとなり、歳出総額に占めるウェイトは33.6%と前年度(32.8%)に比べやや上昇した。

公債費は、地方債の発行累増から 1 兆3,997億円、前年度比+44.8%と著伸。